



いきいき鯨っ子

最長兄姉保護者 様 附属小学校便り9月号 児童：613名



附属小 Facebook

☆教育目標：リーダー性を備えた「生きぬく力」の育成
☆9月の生活目標：「落ち着いた生活」をしよう。

平成30年9月18日（火） 執筆者：校長 中尾 聡彦

○「いのち」について考える

長い夏休みが終わりました。今年の夏は、「危険な暑さ」という言葉を幾度となく耳にしました。夏休み前（7/26）の全校朝会で、次のような話をしました。

7月6日の西日本豪雨から3週間が過ぎました。200名以上の方がお亡くなりになり、この暑い中、元の生活に戻そうと多くの人々が努力されています。亡くなられた方のご冥福をお祈りしたいと思います。

今日は、6月下旬に、ある教室に行ったときの話をしたいと思います。

算数のテストが早く終わったので、残った時間をもらいました。

そこで、質問をしました。「いのちに値段がつくとすれば、いくらぐらいになるのでしょうか？」

最初に返ってきた答えは、「1000万円！」でした。

最初は「？」と思いましたが、理由を聞くと、なるほどと思いました。

理由は、心臓病の人がいたら、移植手術をするのに、そのくらいかかるだろうということでした。

この子は、「いのち」を救うためにという視点で、一生懸命に考えてくれました。

そのうち、そのクラスが出した答えは、「値段はつけられない。」ということでした。

その理由が、実に様々でした。「世界に一つしかないから…」「お母さんが『いのち』をかけて産んでくれたから…」等々です。

「なるほど、だから『いのち』は大切にしなければいけないんですね。では、値段がつけられないくらい大事な『いのち』は、いったい誰のものでしょうか？」と尋ねると、「自分のもの！」ということでした。

ここで、時間になったので、家に帰って、「ぼく、わたしの『いのち』はだれのもの？」って尋ねてくるように言いました。

そして、翌日の朝の時間、昨日の宿題について尋ねました。

すると、「お母さんは、あなたの『いのち』はあなたのものだけど、あなたの『いのち』がなくなれば、自分の『いのち』もなくなるくらい悲しいと言いました。」という答えが返ってきました。

K先生も、その場にいらしゃったので、尋ねてみると、「息ができないくらい悲しくなる。」と答えられました。

そうです。あなたの「いのち」は、あなたのものですが、その「いのち」を大切に考え、支えてくれている人たちの「いのち」でもあります。その顔を思い浮かべて見てください。

夏休みには、長崎や広島に原子爆弾が投下された日や終戦記念日があります。

「いのち」について考える機会を大事にして欲しいと思います。

夏休みに、「いのち」を失うことが絶対ないように！8月31日に、全員で会いましょう！

終戦記念日に出会った、あるコメンテーターの次の言葉が心に残っています。

「自分たちの子ども時代に比べると、『平和』や『いのち』について考える機会が減ってきたように思う。このことは、この国の将来を考える上で、私たち大人が立ち止まって考える必要がある。」

○教育実習

9月3日(月)から、46名の教育実習生を受け入れています。公立学校とは違い、附属小学校は教育学部や大学院の教育実習を受け入れる使命があります。子どもたちは、教育実習生との出会いを心待ちにしていました。休み時間には、教育実習生にぶらさがる子どもたちの姿が見られます。運動場で共に汗を流す姿も見られます。赴任式では、教育実習生に次のような話をしました。「本校には、今日、みなさんを迎えるにあたって、7時前から出勤し、準備を進めている職員がたくさんいます。このことに感謝の気持ちが芽生えれば、その感謝の気持ちは、謙虚に学ぶ姿勢へと変わってくるでしょう。子どもたちは、みなさんとの出会いを心待ちにしています。まずは、子どもに、しっかり寄り添うことができるようになって欲しいと思っています。そうすれば、教職という職業の素晴らしさを感じることができると思います。」本校の教員は、このような教師としての心構えや授業の基本を教授しながら、同時に子どもたちの学習が滞ることがないように側面から支援します。何かお気づきがありましたら、担任にお知らせ下さい。



○授業力向上フェスタ2018(7/27)

7月27日(金)に、「授業力向上フェスタ 2018」を開催しました。毎年のことながら、多くの育友会役員の方々の献身的なボランティアに支えられ無事に終えることができました。衷心より御礼申し上げます。

今年度は、講師の金森強先生(文教大学)をお招きし、「小学校英語教育」について研修を深めました。

また、参加者からは「子どもの発言で授業が進んでいくことに驚きました。」「子どもたちが自分のめあてに向かって没頭している姿がよかった。」「自らの授業力を、組織として高め合っていく取り組みの確かさを感じた。」等の感想があり、嬉しく思いました。

現在、附属学校の存在意義を問う声があります。本研修会のように、研究成果を授業で具体化し、子どもたちの姿で示すことが、県内外の教育研究に貢献していくことになります。また、11月8日(木)、9日(金)には、「学部・小中教育研究発表会」を開催します。この日に向けて、教育実習生の指導と並行しながら、授業の準備を進めています。今後とも、温かいご支援をよろしくお願い致します。



9月の主な行事

- 3(月)教育実習開始～28・実習生赴任式
給食開始、夏季作品展(～4午前中)
実力テスト(5年)
- 4(火)学年朝会
- 6(木)委員会活動
- 11(火)しゃちっこ集会
- 17(月)敬老の日
- 23(日)秋分の日、24(月)振替休日
- 28(金)前期終業式、短縮4校時
教育実習終了・実習生辞任式



10月の主な行事

- 1(月)佐賀大学開学記念日
- 2(火)後期始業式、短縮4校時
(給食なし下校)
- 4(木)委員会活動
- 5(金)授業参観・学級育友会
- 8(月)体育の日
- 10(水)5年宿泊訓練～11(木)
- 12(金)クラブ活動(4～6年)
- 13(土)4年生親子ふれあい活動
- 16(火)学年朝会
- 18(木)6年修学旅行～19(金)
- 19(金)秋の遠足(1～4年)
給食なし、弁当(1～5年)
- 22(月)冬服移行期間～11/2
- 23(火)しゃちっこ集会
- 30(火)全校朝会